

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) オードバディ アリ
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 高森 正樹 (TEL) 0463-96-1442
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	82,144	9.1	2,721	327.9	3,061	185.4	3,536	455.4
28年3月期第3四半期	75,293	13.0	636	-	1,072	△13.8	636	△65.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 3,093百万円(-%) 28年3月期第3四半期 △472百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	36.84	-
28年3月期第3四半期	6.64	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	94,600	26,279	26.5
28年3月期	92,232	23,578	24.0

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 25,044百万円 28年3月期 22,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	1.50	-	1.50	3.00
29年3月期	-	1.50	-	-	-
29年3月期(予想)	-	-	-	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	10.6	4,200	72.9	4,800	59.6	5,200	107.6	54.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期3Q	96,220,851株	28年3月期	96,036,851株
29年3月期3Q	150,529株	28年3月期	145,522株
29年3月期3Q	95,981,910株	28年3月期3Q	95,894,172株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は実施中です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、国内消費は株価上昇などから徐々に回復、外需も円安傾向から輸出が緩やかに増加してきており、全体として景気動向は緩やかな回復傾向となりました。世界経済においては、米国は個人消費の増加から比較的堅調であり、アセアンなど新興国では成長鈍化傾向は継続、中国も景気動向は従前並の水準となりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内では、燃費不正問題や熊本地震による生産停止等が発生しましたが、新車効果により前年並みの国内生産台数を維持しました。アセアンでは、マレーシアは景気減速に加え、銀行による自動車ローン条件の厳格化などのため、国内販売の減少が続いておりますが、タイは輸出に支えられて増加、インドネシアは税制優遇される低価格エコカーが販売好調で増加となり、アセアン3カ国の合計では増加しました。また、中国については、小型車向け減税策が販売を押し上げており増加となりました。

このような環境の下、当社グループは、強固な企業体質を目指し、売上拡大に加え利益確保を最優先にグループ一丸となって、より一層の経費低減をはじめ、あらゆる合理化に取り組んでまいりました。その結果、売上高は好調な国内受注増やアセアンの海外子会社の業績回復を主因に前年同期比で増収増益となり、当第3四半期連結累計期間において、売上高は82,144百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益は2,721百万円(前年同期比327.9%増)、経常利益は3,061百万円(前年同期比185.4%増)、また親会社株主に帰属する四半期純利益は3,536百万円(前年同期比455.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自動車部品事業

自動車部品事業におきましては、好調な国内受注増を主因に増収増益となり、売上高は75,905百万円(前年同期比10.9%増)、営業利益は2,838百万円(前年同期比418.6%増)となりました。

② 用品事業

用品事業におきましては、アフターマーケット市場の低迷から減収となり、売上高は5,934百万円(前年同期比10.4%減)、営業損失は137百万円(前年同期は営業利益74百万円)となりました。

③ その他事業

その他事業におきましては、売上高は1,403百万円(前年同期比1.5%減)、営業損失は1百万円(前年同期は営業損失6百万円)となりました。

なお、筆頭株主であるヴァレオ・バイエンによる当社株式の公開買付けの結果、平成29年1月20日をもって、同社は当社の「その他の関係会社」から「親会社」となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期末における総資産は94,600百万円となり、前期末比2,368百万円の増加となりました。主な要因は、設備投資により有形固定資産が全体で6,108百万円、収益改善により繰延税金資産(流動資産)が985百万円、株価上昇により投資有価証券が977百万円それぞれ増加した一方で設備投資代金の支払等を主因として現金及び預金が5,570百万円減少したこと等によるものであります。

負債は68,320百万円となり、前期末比333百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が2,009百万円、リース債務(1年以内返済予定分を含む)が1,322百万円それぞれ増加した一方で長期借入金(1年以内返済予定分を含む)が3,883百万円減少したこと等であります。

純資産は26,279百万円となり、前期末比2,701百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が3,248百万円、株価上昇によりその他有価証券評価差額金が681百万円それぞれ増加した一方で、為替換算調整勘定の減少が1,206百万円生じたこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、「平成29年3月期 第2四半期決算短信」発表時(平成28年11月7日)の予想を変更しております。詳細は、本日公表しました「平成29年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報並びに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「固定資産賃貸料」は営業外収益の総額の100分の20以下となったため、「営業外費用」の「固定資産賃貸費用」は営業外費用の総額の100分の20以下となったため、当第3四半期連結累計期間より「その他」に含めて表示しております。

上記の表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」に表示しておりました「固定資産賃貸料」30百万円及び「営業外費用」に表示しておりました「固定資産賃貸費用」27百万円は、それぞれ「営業外収益」及び「営業外費用」の「その他」に組替えて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,182	11,612
受取手形及び売掛金	18,326	18,972
電子記録債権	1,797	958
商品及び製品	3,698	3,899
仕掛品	483	560
原材料及び貯蔵品	2,988	3,216
繰延税金資産	72	1,057
その他	2,368	2,514
貸倒引当金	△151	△232
流動資産合計	46,767	42,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,068	9,951
機械装置及び運搬具(純額)	7,553	9,793
工具、器具及び備品(純額)	2,409	2,782
土地	3,424	3,461
リース資産(純額)	5,557	6,852
建設仮勘定	3,439	4,722
有形固定資産合計	31,454	37,562
無形固定資産		
のれん	906	728
その他	1,383	1,387
無形固定資産合計	2,290	2,115
投資その他の資産		
投資有価証券	5,125	6,103
長期貸付金	1,303	1,109
繰延税金資産	238	245
その他	5,060	4,909
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	11,719	12,361
固定資産合計	45,464	52,039
資産合計	92,232	94,600

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,345	22,354
短期借入金	1,158	1,159
1年内返済予定の長期借入金	5,058	5,121
リース債務	3,228	3,881
未払法人税等	321	162
未払費用	2,128	2,940
賞与引当金	1,774	845
役員賞与引当金	52	20
製品保証引当金	1,262	1,141
その他	2,543	3,236
流動負債合計	37,874	40,864
固定負債		
長期借入金	16,317	12,371
リース債務	3,663	4,332
繰延税金負債	827	1,101
退職給付に係る負債	9,775	9,456
資産除去債務	182	182
環境対策引当金	9	9
その他	2	2
固定負債合計	30,779	27,456
負債合計	68,653	68,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,929	8,955
資本剰余金	2,708	2,735
利益剰余金	11,509	14,757
自己株式	△34	△36
株主資本合計	23,112	26,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,423	2,104
繰延ヘッジ損益	△12	△6
為替換算調整勘定	△1,560	△2,767
退職給付に係る調整累計額	△846	△697
その他の包括利益累計額合計	△995	△1,367
非支配株主持分	1,460	1,235
純資産合計	23,578	26,279
負債純資産合計	92,232	94,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
売上高	75,293	82,144
売上原価	61,183	65,512
売上総利益	14,109	16,631
販売費及び一般管理費	13,473	13,910
営業利益	636	2,721
営業外収益		
受取利息	71	67
受取配当金	194	177
持分法による投資利益	527	493
その他	271	85
営業外収益合計	1,066	823
営業外費用		
支払利息	264	300
為替差損	315	125
その他	48	58
営業外費用合計	629	484
経常利益	1,072	3,061
特別利益		
固定資産売却益	2	2
事業譲渡益	997	—
特別利益合計	999	2
特別損失		
固定資産除売却損	103	73
和解金	1,000	187
退職特別加算金	49	—
特別損失合計	1,152	260
税金等調整前四半期純利益	919	2,802
法人税等	402	△750
四半期純利益	516	3,553
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△119	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	636	3,536

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	516	3,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△262	680
為替換算調整勘定	△944	△422
繰延ヘッジ損益	72	5
退職給付に係る調整額	226	148
持分法適用会社に対する持分相当額	△81	△871
その他の包括利益合計	△989	△459
四半期包括利益	△472	3,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△182	3,164
非支配株主に係る四半期包括利益	△289	△70

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,426	5,958	74,385	908	75,293
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	668	672	517	1,190
計	68,430	6,626	75,057	1,425	76,483
セグメント利益又は損失(△)	547	74	622	△6	615

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	622
「その他」の区分の利益	△6
セグメント間取引消去	20
四半期連結損益計算書の営業利益	636

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,902	5,260	81,162	981	82,144
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	674	677	422	1,099
計	75,905	5,934	81,840	1,403	83,243
セグメント利益又は損失(△)	2,838	△137	2,700	△1	2,699

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,700
「その他」の区分の利益	△1
セグメント間取引消去	22
四半期連結損益計算書の営業利益	2,721